

新型コロナウイルス感染症による影響調査（集計結果）

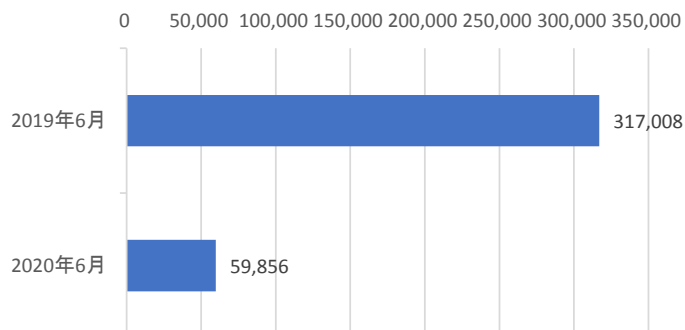
調査対象：294軒 うち回答：50軒（回答率17.0%）

1. 6月の状況について

① 宿泊人数について

（単位：人）

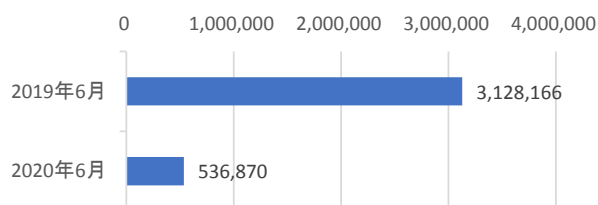
	宿泊人数
2019年6月	317,008
2020年6月	59,856
差	▲ 257,152



② 売上について

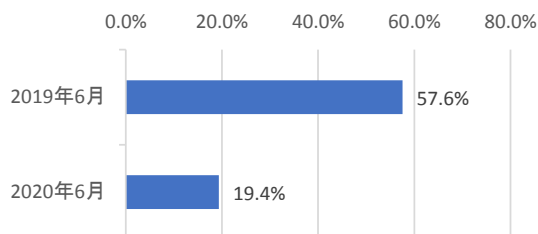
（単位：千円）

	売上金額
2019年6月	3,128,166
2020年6月	536,870
売上差額	▲ 2,591,296 (千円)



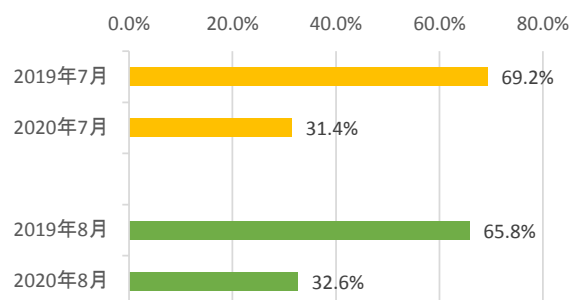
③ 稼働率について

	稼働率平均
2019年6月	57.6%
2020年6月	19.4%
差	▲ 38.2%



2. 7月～8月の稼働率について

2019年7月	69.2%
2020年7月 (6/末時点)	31.4%
差	▲ 37.8%
2019年8月	65.8%
2020年8月 (6/末時点)	32.6%
差	▲ 33.2%

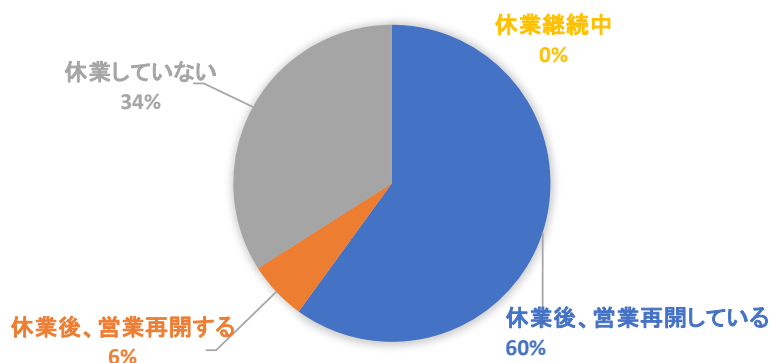


3. 9月以降の動向状況について

- ・ FIT：例年より悪い（3割程度の取り込み）GRP:前年からの振替が入っていたがここきて取消が増えている。
- ・ 前年同時期の25.4%
- ・ 前年同日比52%
- ・ 前年同日比で、約40%と厳しい
- ・ 団体も少なく、動きも鈍い。出入があるのは修学旅行のみ。
- ・ シルバーウィークがあるが、個人・団体ともに動きが弱い（9月）10月～個人の動きも弱いが、団体の動き（CXLも多い）も要注意
- ・ 現在のところ、例年より動きが鈍く業況予測としては厳しい状況が続くものと考えます。
- ・ 10月まではほとんど動いていませんが、11月以降はスケジュール変更をする修学旅行の新規予約が増えています。
- ・ 例年より動きが鈍い。
- ・ まだまだ動きが鈍く、電話などでの予約確認は増えて来ている。
- ・ 動きが鈍い。修学旅行の予約など、問い合わせが多いが第2波が来たら、キャンセルも懸念される
- ・ 全く動きが見られない、団体も見込めない。
- ・ 9月に関しても動きは鈍い。
- ・ とても悪い。
- ・ 動きは良くない。
- ・ Webの動きは6月に入り回復傾向。リアルAGTの動きはまだまだ停滞。
- ・ 7月が動き出したばかりで先々は全くもって動かない。コロナの影響で直近の予約傾向。
- ・ 秋の修学旅行で都立が2021年3月～4月に延期。民泊をとりやめにして、ホテル宿泊に切り替えている学校もある。個人客は例年より動きが鈍い
- ・ 予約はほとんど入ってこない。各社が行っているウェビナーに参加しているが、旅行計画は40%にとどまっているとの事。ホワイトカラーの出張も大幅に減少している。
- ・ Go To キャンペーンを待って予約でかえっているようである。修学旅行の春からの振替があるが今後のコロナ次第でキャンセルや変更になるかも心配している。
- ・ イベントの中止、未定が相次ぎ予約数は伸びず！
- ・ 全くピックアップがございません
- ・ 近隣のイベントがほとんど中止で前年比大苦戦。一般客の動きは鈍い。→Go Toキャンペーン待ち？
- ・ 修学旅行がどうなるか心配。一般客の動きは、鈍い⇒Go To キャンペーン待ち？
- ・ 9月は例年並みに近い数字で推移しているが、10月以降はほぼ動きがなく団体も皆無。
- ・ 例年度よりかなり動きが鈍い。
- ・ 直近の予約が例年時期に比べるとやや多い、コロナの影響が続いているので直近予約が多い傾向にある。ただし、間違いなく前年度を上回る売り上げは見込めない。
- ・ 学校の夏休みが短い影響が出ている。お盆以降の動きが鈍い。例年なら既に入っている、年末年始の予約がまだ入らない。
- ・ 例年より予約ペースが鈍い。特に団体問合せも例年より大幅減。
- ・ 例年よりかなり予約が少ない
- ・ 学生団体が入る時期ですが、それこそ3密のため予約ゼロです。
- ・ コロナウイルスの影響により予約状況が芳しくない。
- ・ 例年より動きが鈍い中ではあるが、少しずつ動いている。
- ・ 例年より動きが鈍い。修学旅行を受け入れているが、政府のGo Toキャンペーン次第で日程変更や取消になる可能性がある。
- ・ 昨年4月の開業後、認知度不足により稼働が思うように上げきれなかった昨年度と比べると凹凸はあるが、全体的には昨年よりも良い動きを示している。
- ・ 例年9月以降の予約は6月頃から入りだすのですが、今年は未だほとんどありません。非常に不安な状況です。
- ・ 予約は増えているが去年の3/4くらい
- ・ 特に変わらない。予約の変動が多い。キャンセルになると予約という形。
- ・ 9月の状況が読めない
- ・ 年末年始の動きがほとんどない
- ・ 動きが鈍いというより動いていないと感じる。
- ・ 先行き不明

4. 休業・再開の状況について

休業後、営業再開している	30
休業後、営業再開する	3
休業していない	17
休業継続中	0

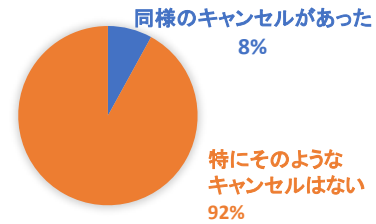


5. 事業状況について

- ・ポスティングやディスプレイを設け、少しでも宿泊を増やすようにした。
- ・4月から客室稼働率は20%の状況が続いている。1966年創業以来初めてのことである。
- ・地元ゲストの動きが主となったため、平日の稼働は伸び悩んだ結果となった。
- ・6月は例年の1/3程度ですが、県のキャンペーンもあり6月初旬よりも稼働が若干伸びた。
- ・7月は県のキャンペーンで入込客増、6月・7月はランチ営業も好調。
- ・7月は少し盛り返しているが前年実績がある他ホテル様と比べると弱い。ランチはとても好評で稼働が高い。
- ・おきなわ彩発見CPで若干ピックアップ（30ルーム）那覇市のCPに期待している
- ・おきなわ彩発見キャンペーンはあまり動きがなかったのでもいいねNAHA宿キャンペーン、那覇たびクーポン事業に期待している。
- ・おきなわ彩発見キャンペーンは、予約1件のみで効果なし。いいね！NAHA宿CPに期待。
- ・県キャンペーンも底上げまで遠く、厳しい状況は継続。
- ・県のキャンペーン「おきなわ彩発見」は沖縄本島中心となっており、離島には恩恵はなかった。
- ・県のキャンペーンによる効果はほとんど感じられなかった
- ・県のキャンペーンは全く恩恵がなかった。厳しい状況ですがオーナー会社からの借り入れによって営業を継続できております。
公共料金などは支払期限の延長、減免などを依頼。
- ・那覇だからかキャンペーンの恩恵は特になし
- ・県のキャンペーンの恩恵は全くない。売上に苦しんでいる。先行きは全く見えない。少なくとも年内は厳しいと思う。
- ・県内キャンペーンの予約は多くはない。当ホテルはビジネスマンや県外のゲストが目立つ。ただし、何度も繰返すが減少はしている。
7月以降も予約状況が前年度に比べると5割以上減となる見通し。このような状況が続くと県内ホテル観光全ても厳しくなると思う。
- ・彩発見キャンペーンはほぼ恩恵なし。那覇市キャンペーンは順調。夏以降ようやく動き出したが、例年の半分程度の見込み。
- ・彩発見キャンペーンの予約はゼロだった。すでに事業は難しくなっている。追加の借入で持ちこたえるよう努力している。売上はまだ期待できない。
- ・相変わらず厳しい。県のキャンペーンも全く関係ない。リピーターさんに救われているが、下半期の予約が入らず、どうなるかわからない。
- ・キャンペーン自体がリゾート中心で、那覇は影響はあまりないと思う
- ・過年で客室稼働率で40%いけば今期（3月末）は良い方だろう。県のキャンペーンも県民の多くが北部へ流れたのは予想通り。
- ・6月～8月の予約客はキャンセルの連絡が相次ぎ、特に6月においては、60%以上がキャンセルとなった。
7月・8月も新規予約とキャンセルの件数が夏全体の売上は例年の50%以下に推移しそうだ。
- ・7月～9月のハイシーズンも低迷予想であり、本年度の計画を見直す必要がある
- ・チェーン60店舗中、約半分が休業していましたが、ほとんど7/1より営業を再開します。
- ・移動自粛が全面解除されたことにより、6月は少し盛り返したが、上半期はかなり落ち込んだので先の予約状況をみてもまだまだ不安である。
- ・今の現状なら、8か月後事業継続は厳しくなる。
- ・受給バランスが崩れ単価の下落もあり、厳しい状況が続いている。
- ・需要と供給のバランスが崩れ単価の下落もあり、厳しい状況が続いている。
- ・問合せ、予約は少しづつ増えてはいるが、前年比6割減の稼働となっておりとても厳しい状況である。
- ・6月以降少しずつ上向いているものの例年の50%程度で推移しており事業自体は厳しい状況が続いている。
- ・非常に厳しい状況であり、低稼働率が続くようなら事業継続の可否も問われる。
- ・あと2～3か月、売り上げが前年比5割が続くと事業継続は厳しくなる
- ・売上が前年比5～7割減が続くと事業が厳しくなる。
- ・しばらくは厳しいでしょう。
- ・すでに厳しい状況である
- ・運転資金追加融資依頼しなければあと3ヶ月で厳しい
- ・8月・9月の売り上げがこのまま少ないと継続はかなり厳しい
- ・キャンペーンは週末に集中し、平日の上積みが出来なかった。厳しい状況ではあるが修学旅行の振替増。（秋口以降）
- ・秋から冬にかけての修学旅行が取消になったり第二波での自粛になった場合従業員の雇用が厳しくなる
- ・4月から6月までの減収分は、政府の持続化給付金（200万）によりかなり補填出来ましたが、今後本来最盛期である7月8月の減収予想を考えると非常に不安。開業以来無借金経営でやってきた為、1年位は持ちこたえられると考えていますが、その先は不明です。
- ・事業継続可能
- ・7月より回復することを願う
- ・7月・8月は去年ぐらいになる感じ
- ・9月以降の売り上げが心配
- ・先の見通しが全く立たなく、低価格販売がどこまで続くか不安である。

6. 他県の事例として、『政府のGo To キャンペーンを見越したと思われる既存宿泊予約のキャンセルが相次いでいる』という情報があります。貴施設でも同様の状況がありますか？

同様のキャンセルがあった	4
特にそのようなキャンセルはない	46



- ・そもそも予約が入っていない。
- ・事例によるキャンセルかは定かではない。
- ・現状、様子見のようであり、はっきりとはわからない。
- ・このようなキャンペーンはもう少し見直していくべきだと思う。
- ・当社は不明。だが、利用する立場に立てばある程度理解できる。
- ・方針が固まっていない為か、予約をためらっていることはよく耳にする。
- ・キャンセルが相次いではいないが、買い控えなのか動きが鈍い感じがする。
- ・ただ、予約が動かない。予約控えのようだ。日程だけでも先に決めてもらった方が動くと思う。
- ・現在、キャンセルはないがかなりの数で取り直しが予想される。又はキャンセルがあると思います。
- ・今のところキャンセルはないが、Go to CP対象期間が決定・報道されればキャンセル（取消）は多くなると想定している。
- ・1月～2月に入っていた7月～9月の外国人キャンセル件数は非常に多い。

7. 雇用状況について

- ・7月も4～6月同様、現状維持を継続中。しかし、働かなくても給料がもらえると勘違いする従業員もでてきていると感じる。
- ・従業員は、解雇・希望退職などを行っておらず、休業（自宅待機）し助成金を活用し、雇用を維持している。
- ・現状維持をしている。
- ・雇用は維持している。
- ・雇用に関しては減員もせず、現状を維持している。
- ・雇用を確保している。休業は9月まで継続予定。
- ・特に現状維持にて従業員は雇用している。ただ、このままの状況が続くと不安を抱える従業員もいる。
- ・全従業員雇用維持に努めている。
- ・現状維持はしているが、移動状況に応じシフト調整を行っている。
- ・大きな変更はなく、退職者もない。
- ・減給することなく、雇用を続けており一時金もでております。
- ・休業中及び営業再開後、稼働に合わせて出勤調整をしているものの全従業員全額支給しています。
- ・雇用状況は変わらず（感染拡大防止のため、営業に影響がないよう、特別休暇を与えている。給料100%保障）
- ・この機会に有給をとってもらうなどの対応で、解雇・減給までは行っていない。
- ・休業中に関わらず、100%保障。
- ・雇用助成金（申請中）を活用し、雇用は継続している
- ・助成金を活用して雇用の維持を図っている。
- ・雇用調整助成金を活用し、給与は満額支払っている。
- ・派遣や配膳スタッフにおいては解除せざる得ない状況であったが、アルバイト・パート含めた直接雇用スタッフにおいては、雇用調整助成金を活用しながら雇用を繋いだ状況。
- ・減給、希望退職を募る事は行っていない。
- ・現状を理解してもらい、休業手当を出しながら雇用を維持しているが今後はわからない。
- ・休日数は増やしているが、その分は100%保証している。特に減給や解雇などはせず頑張っている。
- ・家族経営であり、4月～6月は減給を理解してもらっている。
- ・アルバイト社員には現状を理解してもらい、時短・減給をして頑張ってもらっている。
- ・従業員に理解の上、休日を増やし給与調整をしている。
- ・従業員には現状を理解してもらい、減給をして頑張ってもらっている。
- ・従業員には現状を理解してもらい減給をして頑張ってもらっているが、一部客室清掃やレストランスタッフは数名から退職希望が出て退職をした。
- ・休業を取得して頂き、補償しております。パートタイマーの方の退職が続いております。
- ・一部の従業員には休業をしております。また、並行して希望退職も募った。
- ・社員は減給でやっているが、派遣などは雇い止めをしなくてはならない状況。
- ・アルバイトの方は出勤を減らしている。
- ・出勤日数を減らしている。
- ・必要最低限の人数で賄っている。（パート、派遣は休職）
- ・例年6月から10月までの繁忙期にアルバイトを雇用していたが、今年は雇用なし。
- ・雇用調整助成金を活用し、雇用を維持している。
- ・休館中は休業申請を行いまだ縮小のシフトで運営を継続中。
- ・6月以降も対前年比が、30～50%なので従業員には現状を理解してもらい減給も予定している。
- ・休業補償をしながら、雇用継続。
- ・休業中に減給を実施した。
- ・一時、休みに入ってもらっている。
- ・仕事のない職員は、自宅待機をお願いしている。
- ・パートを含むスタッフ全員は解雇せず、自宅待機をしております。
- ・季節的な労働の方に、期間が短くても良いか伺い、それでもOKな方を採用した。
- ・外国人が多く訪れる沖縄になってもう5年。そのため、中国語対応に年間雇用した為、5人のスタッフがいる
- ・離島は3食住み込みのため毎回15食は作ったり、給与もあるため経営者としてはとても苦しいです。

8. 助成金・融資・減免処置などについて

- ・ 第1回助成金申請は添付資料が多く煩雑でしたが2回目以降はスムーズでした。電気料金の減免を組合から働きかけていただきたい。
- ・ 雇用調整助成金の申請、未だ手つかず。既存借入のリスク完了。追加融資は8月頃目途。税金やNHK等の減免はあったが、あと2〜3ヵ月お願いしたい。
- ・ 助成金・融資ともに特に不具合は感じない。
- ・ 雇用調整助成金の申請はできなかった。どの手続きも条件を緩和してもらわないと厳しい。
- ・ 沖縄公庫の既往分を1年据え置き対応してもらっている。運転資金を新規に借入れ、来年4月までの手当は出来そうである。
- ・ 4月に公庫に借入している。しかし無利子ではなく政府の言っていることと違います。
- ・ 当社担当者にて対応しているが、申請に苦労したとの話を耳にする。北谷町からの補助は？
- ・ 助成金の申請については、本社で手続きを行っている。従業員の雇用にもう少し国・県は考えて欲しい。
- ・ 助成金制度がたびたび変更により、申請手続きに手間取った。
- ・ 各種最大限の活用にて進めている。
- ・ 持続化給付金支給された。雇用調整助成金は申請中。
- ・ 持続化給付金・NHK受信料免除等の申請を行った。
- ・ 雇用調整助成金申請済み、持続化給付金 済み。
- ・ 助成金申請中。今後も特例措置の間は活用し、少しでも影響を抑えたい。
- ・ 助成金の申請を行っています。
- ・ 雇用調整助成金の申請をしている
- ・ 本社でまとめて申請中と聞いている。
- ・ 助成金は申請済み。
- ・ 雇用調整助成金は申請済み。
- ・ 本社にて各種助成金を申請。
- ・ 申請完了した。
- ・ 雇用調整助成金申請済み。
- ・ 雇用調整助成金の申請は完了した。
- ・ 雇用調整助成金の申請は完了してる。
- ・ 雇用調整助成金がようやく申請完了した。
- ・ 雇用調整助成金を申請中。
- ・ 雇用調整助成金は、申請中。
- ・ 助成金を申請中。
- ・ 雇用助成金申請中、持続化給付金等申請予定。
- ・ 本社（東京）にて申請予定。
- ・ 本部が窓口の為、詳細は不明です
- ・ 持続化給付金・感染拡大協力金、雇用調整助成金、中小企業セーフティネット資金・新型コロナウイルス感染症特別貸付。
- ・ 雇用調整助成金が4月分振り込まれた。融資の追加申請をしている。
- ・ 雇用調整助成金を活用し、すでに入金している。
- ・ 雇用調整助成金の申請がようやく完了した。融資からまだお金がおりない。
- ・ 県のコロナ特別融資（無担保、実質3年間無利子）を申請中（融資希望額1,000万）
固定資産税、法人税、消費税等は支払済、特に減免又は支払猶予申請はしていません。
- ・ 雇用調整助成金4月分頂けた。5月にセーフティーネット資金が受理された。

9. 施設での困りごと・その他要望などがございましたら自由にお書きください。

- ・ TACOに関する情報が少ない、もっと発信してほしい。飛まつ防止パネル、消毒等、細かなコストの積み上げも厳しいので何かしらの補助があると助かります。
- ・ コロナ対策費用、ホテル維持費用と収入のバランスが合わないのが何カ月も続く事に困っている。
- ・ 第二波の問題。受入施設として矛盾もあります。
- ・ 県跨ぎへ移動が解除されてから「マスク着用無」のお客が増えつつある。空港などで着用義務化等じゃないのか？
- ・ 観光施設向けの支援
- ・ 感染防止策の取組に対する支援などあればお伺いしたいです。
- ・ 感染防止対策ガイドラインに沿った支援は必要と考える。（マスクや消毒液、体温計等）
- ・ 感染防止対策にかかる費用の助成、支援があれば助かります。
- ・ 感染防止対策ガイドラインに沿った取り組みに対する金銭的な支援を求む。収入が厳しい中のコスト増となっている。
- ・ 感染防止対策ガイドラインに沿った取り組みに対する金銭的な支援はないのか。感染防止の取組をして、はたしてお客様がそれを評価するのか？疑問に思う事もある。
- ・ より非接触型の感染防止グッズ（道具）の紹介支援
- ・ 非接触型体温計、サーモグラフィー等、必要になる際の金銭的支援があると助かります。
- ・ ホテルは固定費が高い。持続化給付金の200万は有難かったがすぐに給与に消えた。大型の助成金を希望する。感染防止に対する金銭的な支援は願っている。
- ・ 感染防止対策ガイドラインの取組によるビジネス機会損失を懸念。
- ・ 感染防止対策のガイドラインも大事だが、今現状をどう乗り越えていくかを考えないといけないと思う。沖縄県は観光で盛んな県なのでそこにもっと力を入れ、県外客・インバウンド・スポーツ合宿・修学旅行・各イベントなどを取り戻す行動を。（中止になったイベントなどの再開をするなど動いてほしい。）
- ・ 宿泊ゲストは増やしていきたいが、その一方で感染拡大も懸念される。県外からの旅行者には旅行前の体調管理と万が一体調不良の場合は旅行自体を控える様、啓蒙活動とその場合の飛行機や旅行代金のキャンセルチャージ免除などを働きかけてもらいたい。
- ・ コロナウイルス対策にかかる費用の助成などがあれば良い。
- ・ ガイドラインに沿った取り組みに対する助成金の増額をしてほしい。Go To キャンペーンの早期の開始を願う。
- ・ Go TOキャンペーンの状況を随時アドバイスをお願いしたい。
- ・ 売上が前年比40%減の事業者には支払った資金の40%補助する制度を1年くらいやって欲しい。（減った売上の割合に応じて資金を助成する仕組み）
- ・ 政府の持続化特別給付金の様な金銭的な救済処置を沖縄県として制定してほしいと思います。
- ・ 除菌のやりかた等の細かいガイドラインがほしい
- ・ チェックアウト後の客室に清掃に入る際、もしウイルスがいた場合スタッフへの感染がないか不安になる。チェックアウト3日後に健康状態の確認をするためにお客様に電話をするが、連絡が取れなくて困ったことがある。
- ・ そもそも観光客が来るのが難しくなっていて離島は特に少ない。飛行機がまともに動かないと先は見えなくなります。
- ・ どこまで対策をすれば良いのか不安が付きない。消毒液がまだまだ高値である。手に入りにくい。
- ・ 今年に限っては客室稼働率も低く調整せざるを得ない状況であり、同業他社と情報共有・歩調を極力合わせながら自助努力で乗り切っていきたい